

# ごあいさつ

本市は、平成 20 年 3 月に香取市総合計画を策定し、基本構想では「市民協働による暮らしやすく人が集うまちづくり」を基本理念に掲げ、また、「元気と笑顔があふれるまち 一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取」を将来都市像として定め、これに向かって市政を推進して参りました。

この度、前期基本計画が平成 24 年度をもって終了することから、今後 5 年間に取り組むべきまちづくりの基本的な指針となる香取市総合計画 後期基本計画を策定いたしました。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、地盤の液状化などにより本市も甚大な被害を受け、未だ復旧・復興の途上にあり、一刻も早い復旧・復興を成し遂げることが最重要課題となっています。また、震災により見直された、地域の絆や人と人との支え合い・助け合いの力を大切にし、安全・安心なまちづくりを進めていくことが大変重要になっています。

さらには、地域経済の低迷、人口の減少、少子高齢化の進行、地方分権の進展、様々な合併特例の逡減など、本市を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような中において、「元気と笑顔があふれるまち 一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取」の実現に向け 34 の施策を設定し、特に戦略的・重点的な取組として、前期基本計画の重点プロジェクトと東日本大震災の影響を踏まえ、「にぎわい創造プロジェクト」「げんき創造プロジェクト」「あんしん創造プロジェクト」を設定し、推進体制として「支え合い・助け合いの力」を位置づけました。

これからのまちづくりにおいては、これまで同様、市民協働により、市民の皆様のご意見を聴きながら、総合計画を基に進めて参ります。一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この計画の策定に当たりまして、タウンミーティングや市民意識調査、自治会長アンケート、自治会長会議、パブリックコメントなど様々な手法で市民の皆様のご意見をお聴きし、頂いたご意見を活かしながら進めて参りました。貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様、熱心にご審議いただきました総合計画審議会委員並びに関係者の皆さまに心よりお礼を申し上げます。



香取市長 志保 誠